

# 数々修習

vol.09

初秋号

平成二十九年九月一日発行

住職からのご挨拶

孟蘭盆会万燈供養

フォトライブラリー

坂田鵬山先生、参拝者の声

新たな試みの孟蘭盆会供養を行いました

## 幽玄の世界に引き込まれた 素晴らしい法要となりました

### 初

秋というものの、まだまだ暑い日が続いておりまして。皆様におかれましてはお変わりございませんか。

さて、前号にてお知らせいたしました「孟蘭盆会万燈供養」を、去る八月十二日に無事厳修いたしましたことをご報告申し上げます。

この法要は、仏教における「二切衆生(にきじゆう)の考(くわ)えから、檀信(だんしん)徒(と)様の(よう)みならず、菩提(ぼだい)樹(じゆ)苑(えん)の(の)建(けん)立(りつ)者(しや)の方(かた)々(々)、沙(しゃ)羅(ら)の(の)苑(えん)の(の)ペ(ペ)ットちゃん(ちゃん)と飼(か)い主(しゆ)様(さま)など、当(とう)院(えん)に縁(えん)のある(の)方(かた)々(々)ならびに縁(えん)のない(の)方(かた)々(々)も含(こ)めた(の)すべ(す)て(の)の(の)総(そう)供(きやう)養(やう)法(ぽう)法(ぽう)要(よう)と(と)して(して)行(こう)った(の)もの(の)です(す)。

本蔵院・菩提樹苑・沙羅の苑が合同で執り行う法要は初めてだったことから、当日を迎えるまで「皆様からご理解を得られるだろうか」「どれだけの方に参拝いただけるだろうか」と少し心配をしておりました。しかし実際は予想を超える二百名近くのご参拝をいただき、あらためてご本尊の御力を強く感じました。皆様のご理解、ご賛同ならびにご参拝に深く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

本年の「孟蘭盆会万燈供養」を振り返りますと、まずは坂田鵬山先生の尺八と井原季子さんの笙の音の思い出されます。



第二十住職 藏本崇正

何よりの奉納になったことと思います。最後は、式の始めに献灯・献花をしてくださいました子どもたちと一緒に「復興の鐘」を撞きました。まだ数回しか撞いていないのですが、静かに冴える深い音は何度聞いてもよいものです。

さらに、穏やかな風が吹き渡るなど、天候にも恵まれました。参拝者の皆様にも気持ちのよい時間になったのではないかと思います。これもご先祖様のお導きなのでしょう。

ゆつくりと夜に近づく雰囲気、菩提樹苑の高台から眺める夜景、奉納された尺八や笙の音など、すべての要素がからみあい、まるで会場一帯が極楽浄土になったかのような不思議な空間と時間を皆様と共に過ごすことができました。

法要でもお話をいたしましたでしたが、命は有限であることは揺るぎない事実です。しかしながら、生きる人の心に、命が溶け込むことで無限の命へと変わります。お盆にご先祖様のことを思い、供養することは、あらためて亡き御霊を自分の心に宿すことです。このことが有限の命が無限の命へ変わる一歩なのです。

来年以降も今年と同様に「孟蘭盆会万燈供養」を執り行いたいと考えています。日程は、八月十二日(土曜日)を予定しています。近くなればまたお知らせいたします。多くの皆様、この素晴らしい法要においでいただければ幸いです。最後に、この法要でも撞きました「復興の鐘」は、今年の年末に「除夜の鐘」として皆様に撞いていただくよう準備を進めております。こちらにもたくさんのご参集をお待ちしております。次号ではそのお知らせもできるかと思っております。どうぞご期待ください。

### 数々修習とは？

道を求める事、つまり見道・求道を繰り返し繰り返し反復するという意味です。私住職もこのお便りと一緒に熟していければと思っております。

平成二十九年 八月 十二日(土) 菩提樹苑にて

## 孟蘭盆会万燈供養(うらぼんえまんとくよくう) フォトライブラリー



孟蘭盆会の本尊様

多くの献花もいただきました

読経の声も空に響いていこうです

熊本市の夜景を眼下に 荘厳な雰囲気法要となりました

力強い、坂田鵬山先生の尺八

小さな子ども、真剣にお参り

阿蘇の山々まで届くような井原季子さんの笙

子どもたちもしっかりお手伝いしてくれました

演奏後の井原さんと。笑顔がこぼれます

夕間にゆらゆらと揺れる、ほのかな灯り

式典後、子どもたちと一緒に記念撮影



関わってくださった方々からの温かな声  
坂田鵬山先生、  
ご参拝の方々から  
お言葉をいただきました



都山流大師範 坂田鵬山先生  
屋外での演奏は初めてと聞いていくくらいで非常に緊張いたしました。通常の演奏会では、隣に他の演奏者がいるのですが、本蔵院では独奏。さらに聞く方との距離が近いのが印象的でした。皆さんに熱心に耳を傾けていただき感謝の気持ちでいっぱいです。今年には最後ということもあり、演奏後に花束をいただきました。天にも舞い上がるような最高の気持ちでした。ありがとうございました。

### 参加された様

初めての試みということで、どのような法要になるかまったく想像がつかないまま参加しましたが、とても素敵な時間でした！夜の中、街の灯りを背景に、尺八や笙の演奏を聞く、幻想的のため息ができました。長年聞いてきた坂田先生の尺八も、これが最後と聞きました。寂しいですが、最後にふさわしい、心に沁み入るような音でした。ありがとうございました。

献灯 献花に参加した小学4年のNちゃん  
前のさくら祈願にも参加しました。今度は、仏さまにお供えするお花を運びました。この日に向けて何回も練習しました。私が一番年上で一番前だったのでドキドキしましたが、しっかり出来たと思います。いつも崇正さんのお話を楽しみに聞いています。ご先祖様のお話を楽しくて、とても勉強になります。そして、お寺に参加している人なことを経験できて楽しいです。夏休みの思い出にもなりました。来年も絶対やってみたくです。

### NEWS 01 本蔵院からのお知らせ 「復興の鐘」へお名前を 刻みませんか 第2期募集が始まりました

今年4月に菩提樹苑に建立いたしました「復興の鐘」。この鐘の内部にご自身やご先祖のお名前を刻み、復興への祈りを後世に受け継いでみませんか。建立時は、地震1周年に間に合うよう急ぎ作製したために、ゆつくりと募集の期間をとることができず、「申し込みをし損ねた」というお声もいただきました。そこで、第2期として刻名の追加募集を行っています。詳しくは同封のチラシをご覧ください。



### NEWS 02 残暑のお供にいかがですか オリジナルうちわをつくりました

孟蘭盆会万燈供養に向けて、本蔵院のオリジナルうちわをつくりました。復興の鐘がデザインされた、涼しげなミニサイズのうちわです。配った皆様には大変好評をいただいています。



### 9月の行事のお知らせ

9/23(土) 「秋のお彼岸会法要」  
11時～ 今回も百万遍の念珠の会を同時開催。本蔵院にて 手作りのお斎(とき)をお楽しみに。

9/28(木) 「不動護摩祈願 秋の大祭」  
13時～ 自らの手で護摩木をお不動様の火に投じていただく内拝も行います。

秋の訪れが待ち遠しい日々です  
毎日蒸し暑く、秋の涼やかな風が待ち遠しい今日この頃です。皆様も体調にお気をつけてお過ごしください。「数々修習」では、内容のご感想やご要望などをお待ちしております。ぜひ下記までお知らせください。

発行元 本蔵院「数々修習」編集室  
(担当/宮本ゆりこ)  
〒860-0811 熊本市中央区本庄6-15-50  
TEL 096-364-4848 / FAX 096-364-9570  
info@honzojin.or.jp